

(一般情報)

びわ栽培の作業負担軽減を目指して

～若手生産者を対象としたびわの低樹高栽培研修会の開催～

安房農業事務所改良普及課 令和2年10月12日発

農業事務所では、9月25日に、若手生産者を対象にびわの低樹高栽培技術研修会を開催したところ、11名の参加がありました。びわ栽培では、樹上での作業が一般的ですが、高木になりやすいため生産者の負担が大きく、作業性の良い低樹高栽培への関心が高まっています。しかし、その導入には、苗木からの仕立てやせん定に関する高い技術が必要であるため、新技術に関心の高い若手生産者から指導を求められていました。

当日は、農業事務所職員が講師となり、現地ほ場で低樹高化に向けたせん定、誘引方法について実演しました。生産者からは、主幹の切下げ位置、下枝の管理法の質問や、「自園でも取り組みたい。」と前向きな意見が出されました。

今後、研修を実施した園地を実証ほとして、継続した講習を計画しています。当事務所では、びわの生産性や作業性の改善に向けて、生産者を引き続き支援していきます。



低樹高栽培研修会の様子



低樹高栽培の実証ほ